



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7539 URL <https://www.ainavo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	23,705	1.0	634	△4.6	725	△3.4	444	1.2
2025年9月期第1四半期	23,462	2.7	665	△4.1	751	△2.0	439	△8.0

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 539百万円(-13.1%) 2025年9月期第1四半期 477百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	19.13	—
2025年9月期第1四半期	18.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	48,589	26,474	54.5
2025年9月期	47,481	26,298	55.4

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 26,474百万円 2025年9月期 26,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 26.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	98,500	6.7	2,100	△17.1	2,600	△8.8	1,600	△4.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期 1Q	23,295,640株	2025年9月期	23,295,640株
2026年9月期 1Q	64,212株	2025年9月期	64,212株
2026年9月期 1Q	23,231,428株	2025年9月期 1Q	23,131,428株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は237億5百万円と前年同四半期に比べ2億43百万円(1.0%)の増収となりました。

損益面につきましては、売上総利益は前期比で8.6%増加、粗利益率は前期比で1.1ポイント増加したものの、人件費等の販管費が前期比で11.8%増加したことにより、営業利益は6億34百万円と前年同四半期に比べ30百万円(4.6%)の減益、経常利益は7億25百万円と前年同四半期に比べ25百万円(3.4%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億44百万円と前年同四半期に比べ5百万円(1.2%)の増益となりました。

今後の見通しにつきましては、当分の間、新築の着工数は戸建て・集合物件とともに回復は見込めず、特に大都市圏以外のエリアでの需要はさらに減退傾向が見込まれます。そのようななか、戸建事業については、売上高の確保を優先し、積極的な受注活動と新規取引先の開拓に注力します。大型物件事業については、VE提案や原価管理の徹底を図り、完成現場の粗利確保に努めます。また、当期から新たに連結対象とした子会社による業績の加算は、売上高で16億円、営業利益で90百万円を見込んでいます。現在、当期を初年度とする3か年計画を策定中であり、継続的な成長戦略として今後も従業員の積極的な採用とM&Aによるエリア・商材の拡大を実行してまいります。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、住宅リフォーム市場の景況感は概ね前年並みで推移したものの、新築住宅の着工数につきましては、賃家、戸建分譲、持家ともに前年割れが常態化しており、当面の間は回復が見込めない状況で推移しました。

このような事業環境のもと、タイル及び建材関連販売につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、流通タイル、木質建材の販売は横ばい、オリジナル商品の販売は増加したことなどがあります。タイル及び建材関連工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、タイル工事は微増、サイディング工事は減少、サッシ工事は増加したことなどあります。住宅設備・衛生・空調機器販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、ユニットバス工事、キッチン工事は横ばい、便器の販売は減少、オリジナル浴槽の販売および空調機器の販売は増加したことなどあります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は、202億68百万円と前年同四半期に比べ4億42百万円(2.2%)の増収、セグメント利益は8億57百万円と前年同四半期に比べ77百万円(10.0%)の増益となりました。

(大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、民間非住宅投資、公共建設投資は概ね前年並みで推移したものの、マンション向けの建設投資は力強さに欠けた状況が続きました。

このような事業環境のもと、タイル及び石材工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、新規連結子会社の株式会社上塗タイルの売上が加算されたことなどあります。住宅設備・衛生・空調販売及び工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、公共施設関連の空調工事が進行基準対象の物件を中心に完工高が増加した一方、集合住宅向けの住宅設備工事が受注不足の影響により完工高が減少したことなどあります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は、34億36百万円と前年同四半期に比べ1億99百万円(5.5%)の減収、セグメント利益は3億32百万円と前年同四半期に比べ14百万円(4.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億7百万円増加し、485億89百万円となりました。これは主として、受取手形・完工工事未収入金等が12億17百万円、未成工事支出金が9億35百万円増加した一方で、重要性が増したことにより非連結子会社であった株式会社上塙タイルを連結の範囲に含めた結果子会社株式（投資その他の資産、その他）が11億98百万円、現金及び預金が4億57百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億32百万円増加し、221億14百万円となりました。これは主として、支払手形・工事未払金等が7億76百万円、ファクタリング未払金が5億16百万円、短期借入金が4億50百万円、未成工事受入金が4億97百万円増加した一方で、未払法人税等が7億11百万円、未払費用（流動負債、その他）が6億78百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億75百万円増加し、264億74百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が1億10百万円、利益剰余金が80百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,124	12,667
受取手形・完成工事未収入金等	13,933	15,150
商品	1,156	1,390
未成工事支出金	2,892	3,827
販売用不動産	54	67
その他	1,766	1,544
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	32,910	34,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,398	1,423
機械装置及び運搬具（純額）	11	17
工具、器具及び備品（純額）	99	108
土地	5,144	5,160
リース資産（純額）	68	65
建設仮勘定	0	13
有形固定資産合計	6,723	6,788
無形固定資産		
のれん	207	373
その他	280	270
無形固定資産合計	487	644
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109	2,418
長期貸付金	5	5
退職給付に係る資産	1,189	1,211
繰延税金資産	323	221
その他	3,859	2,780
貸倒引当金	△126	△110
投資その他の資産合計	7,359	6,527
固定資産合計	14,571	13,960
資産合計	47,481	48,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,624	10,401
ファクタリング未払金	4,468	4,984
短期借入金	215	665
リース債務	26	25
未払法人税等	821	110
未成工事受入金	1,080	1,577
完成工事補償引当金	67	62
工事損失引当金	51	76
その他	3,075	2,163
流動負債合計	19,431	20,066
固定負債		
長期借入金	101	183
リース債務	48	45
繰延税金負債	293	437
役員退職慰労未払金	385	434
退職給付に係る負債	114	137
その他	809	809
固定負債合計	1,751	2,048
負債合計	21,182	22,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	896	896
資本剰余金	1,404	1,404
利益剰余金	23,115	23,196
自己株式	△13	△13
株主資本合計	25,403	25,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	396	507
退職給付に係る調整累計額	498	483
その他の包括利益累計額合計	895	990
純資産合計	26,298	26,474
負債純資産合計	47,481	48,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)	(単位：百万円)
売上高	23,462	23,705	
売上原価	20,031	19,978	
売上総利益	3,430	3,726	
販売費及び一般管理費	2,765	3,092	
営業利益	665	634	
営業外収益			
受取利息	1	3	
受取配当金	15	23	
仕入割引	27	27	
不動産賃貸料	29	28	
その他	27	23	
営業外収益合計	101	106	
営業外費用			
支払利息	3	4	
支払手数料	1	1	
不動産賃貸原価	10	9	
その他	0	0	
営業外費用合計	15	15	
経常利益	751	725	
特別利益			
固定資産売却益	1	0	
投資有価証券売却益	—	5	
特別利益合計	1	5	
特別損失			
固定資産除却損	0	9	
抱合せ株式消滅差損	33	—	
固定資産売却損	—	7	
特別損失合計	33	16	
税金等調整前四半期純利益	718	714	
法人税、住民税及び事業税	68	84	
法人税等調整額	211	185	
法人税等合計	279	270	
四半期純利益	439	444	
親会社株主に帰属する四半期純利益	439	444	

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	439	444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	110
退職給付に係る調整額	△11	△15
その他の包括利益合計	38	95
四半期包括利益	477	539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477	539
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年11月13日 取締役会	普通株式	254	22.00	2024年9月30日	2024年12月2日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年11月13日 取締役会	普通株式	325	14.00	2025年9月30日	2025年12月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	50百万円	56百万円
のれんの償却額	17百万円	13百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,636	19,825	23,462	—	23,462
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	3,636	19,826	23,462	△0	23,462
セグメント利益	318	780	1,098	△433	665

(注) 1 セグメント利益の調整額△4億33百万円はセグメント間取引消去71百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△5億4百万円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,436	20,268	23,705	—	23,705
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	19	27	△27	—
計	3,444	20,287	23,732	△27	23,705
セグメント利益	332	857	1,190	△555	634

(注) 1 セグメント利益の調整額△5億55百万円はセグメント間取引消去61百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△6億17百万円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。